



ゆざまち 協力隊通信

やっぱりちょうどいざん！の1月号



ゆざまち協力隊のつぶやき



松尾尚記

@「若者を中心とした
ビジネス創出事業」支援

協力隊通信に載ってる写真のほとんどがギターを弾いている写真になっています。11月には「まるっと遊佐まつり」と「遊佐町芸術祭」にてストリートライブを行いました。音楽いいっすねえ～。



早坂豊美

@情報発信・
水循環保全啓発

鳥海山麓のかほと遊佐の移住者交流会が、にかほっとで行われました。だまこ汁、遊佐町のおむすびを食べながら、湧水の利き水やクイズなど盛り上がり、それぞれの魅力を感じられた夜でした。



秦秀平

@DX次世代人材育成支援・
スマホ道場2代目師範

旧年中は、スマホ道場以外にも様々な場面で町のみなさんにお世話になりました。ありがとうございました。4月には協力隊活動も3年目に突入です。今年もよろしくお願いいたします。



吉田実

@DX推進支援・
スマホ道場3代目師範

不安と期待を織り交ぜながら遊佐町にやってきてから3年が経とうとしています。長くもあり短くもあるこの時間は私にとって大切なものとなりました。遊佐に来る決断をした過去の自分にありがとうございます！



水谷響

@遊佐高
暮らしのコーディネーター

二回目のイングリッシュキャンプを開催しました。遊佐小の1,2年生が12人も来てくれました！毎回元気と温かい気持ちをもらっています。温かく子どもたちを見守る素敵なお遊佐町が好きです。



下村俊太郎

@遊佐高
教育コーディネーター

遊佐町のオリジナルステッカーを作り、観光協会さんやふらっとさんなどで販売させてもらっています！ぜひステッカーに良いアイデアあればください！あとインスタもやってますのでフォローミー😊



白井駿平

@情報発信・
水循環保全啓発

遊佐高校で「水を語れるようになる」ことを目指す授業を実施しました。高校の先生方や授業に参加いただいた地域の皆様のご協力あってのことです。貴重な機会を本当にありがとうございます！



久田直

@遊佐高
暮らしのコーディネーター

新年もよろしくお願いします！今年度の冬を越えられるか不安を持ちながらも、地域の皆様に支えていただき充実した生活をしています！何気ない事も常に感謝の気持ちを忘れずにいきましょう！



表紙の写真に各隊員の活動やプライベートの写真を使うようにして4回目の通信。圧倒的に室内の写真が多いことに季節の変化を感じました。厳しい冬の時期が続きますが、ぜひご自愛いただき、皆様健康でお過ごしください。今年もよろしくお願いいたします。



第25回 山形ふるさとCM大賞



一般部門賞受賞！

次のステップへ



2月末で退任する
2人の隊員から
みなさんへご挨拶



吉田 実
DX推進支援業務担当

2年間は学生生活支援、今年から約1年間はスマホ道場の三世代目師範をしていました。遊佐では素敵な出会いに恵まれ、感謝の気持ちでいっぱいです。ここでは伝えきれない思いがたくさんあるので、活動報告会にて！卒業後についてはまだ模索中ではありますが遊佐にいたいと思っています。



水谷 韶
遊佐高校学生生活支援業務担当

遊佐高校支援にたずさわって、毎日があつという間に過ぎていきました。毎週地域の方が何らかの形で高校生と関わってくださり、遊佐町に支えていただいてこそこのプロジェクトの存続なのだ、と強く感じる一方まだ広がりしこがあるとも思っています。ぜひ報告会でご挨拶させてください。

全国へ届け！鳥海山への愛

今年のふるさとCM大賞は、遊佐町の魅力の原点に立ち返り、鳥海山をテーマに制作しました。鳥海山は、遊佐町にとって心の拠り所とも言える特別な存在。その「愛着」と「プライド」を表現しようと制作したCMが一般部門の部門賞を受賞しました！どのようにCMができていったのか、その裏側をお届けします。

原点回帰！難航のテーマ決め

実は今回、元々は別のテーマになる予定で企画が進んでいました。しかし、あくまで大賞を目指して制作していく姿勢に立ち「遊佐町ならでは」の内容になっているかを改めて吟味した結果、テーマを設定しなおすことに。振り出しに戻った企画。遊佐町を象徴する分かりやすいテーマは何かと考えた結果、たどりついたのが鳥海山でした。県外からの移住者が多い協力隊。元々「ちょうかいさん」と認識していたところ遊佐町では「ちょうかいざん」と呼ばれていることに驚いた隊員も多くいました。その体験に着想を得て、名前の呼び方に愛着が現れるという考えのもと、遊佐町の鳥海山への愛着を伝えるべく作品制作を進めました。



▲企画会議は4月から始まりました

表現の苦悩

テーマと方針が決まった後に考えるのは、実際にどうそれを表現するかです。「ざん」と「さん」のどちらかが間違っているということはありません。そのため「ちょうかいさん」の呼び方を“正式”と表現することには葛藤も。しかし、「鳥海山」が多くの場面で「ちょうかいざん」と呼ばれている前提を表現するほど「ちょうかいざん」と呼ぶ遊佐町の愛着と誇りの高さが際立つと考え、“某機関へ正式名称を問い合わせる”という場面設定をしました。撮影場所には、鳥海パノラマパークを選定。撮影日が天候に左右されるため度重なる予定変更がありながら、最終的には鳥海山の勇壮な姿が青空に映える映像を撮影できました。編集の段階においても、字幕をつける箇所とつけない箇所の整理や字幕のデザイン、背景音楽や効果音の調整など細かく意見を出し合いながら、提出直前まで修正を重ねました。



▲提出1ヶ月前に晴天での撮影が実現

・協力隊からのお知らせ・



サポート一斉募集中！

いつも知っている景色に、発見が増える。

「鳥海山・飛島ジオパーク」では、気軽に関われるサポートの一斉募集中です。特別な知識や準備は必要なし。SNSで発信したりイベントに顔を出すだけでも大丈夫！「面白そう」と思った時がはじめ時。ぜひぼくと一緒に“ジオ活”はじめませんか？(by りっきー)

詳しくは2次元コードから



活動報告会を実施します！

地域おこし協力隊令和7年度活動報告会を実施します。現在活動する9人の協力隊がこの1年どのような活動をしてきたのか、そして、一人の移住者としてそれぞれどんな生活を送っているのか、私たちの1年間をお伝えいたします。どなたでもご観覧いただけますので、普段私たちと関わりのある方も、そうでない方も、どうぞお気軽にご来場ください。皆様とお会いできることを楽しみにしております。

日時：2026年2月20日(金)

13:30~15:30

場所：遊佐町役場議場



謝辞

今年のCM制作も、テーマ設定、企画、撮影、編集、全ての場面で株式会社オリーブ様にご協力をいただきました。この場を借りて感謝申し上げます。また、町民の皆様から受賞を祝うお言葉をかけていただいたことがCM制作の励みとなっております。テレビ放送をご覧いただいた皆様、ありがとうございました。



▲オリーブ社監修のもと、音声の録音

【交流コーナー】お聞かせください、鳥海山への愛

今年のふるさとCM大賞では、遊佐町のみなさんが持つ鳥海山への愛を表現しようと作品制作を行い、一般部門賞を獲得できました。

しかし！CM作品では表現しきれていない鳥海山への深い愛がきっとまだたくさんあるはず。

「あの時登った鳥海山からの景色が忘れられない」
「鳥海山の山頂が見えた日は一日ハッピーな気分」

など、鳥海山にまつわるみなさんの思い出や日課、思いの丈をお聞かせください！（お寄せいただいた内容は次回の協力隊通信で紹介させていただきます。）

またあわせて、次のふるさとCM大賞に向けて、鳥海山に限らずみなさんが思う「遊佐の魅力」についてもぜひ教えていただきたいです！作品制作の参考とさせていただきます。

右の2次元コードからお送りください



スマートフォンのカメラで読み取ってください